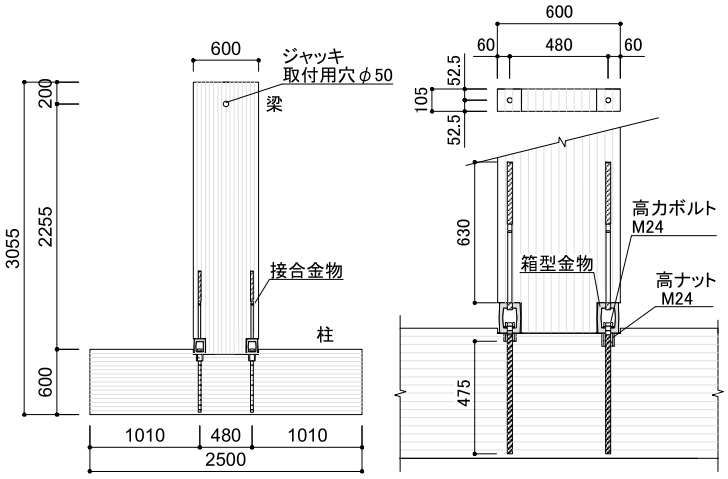
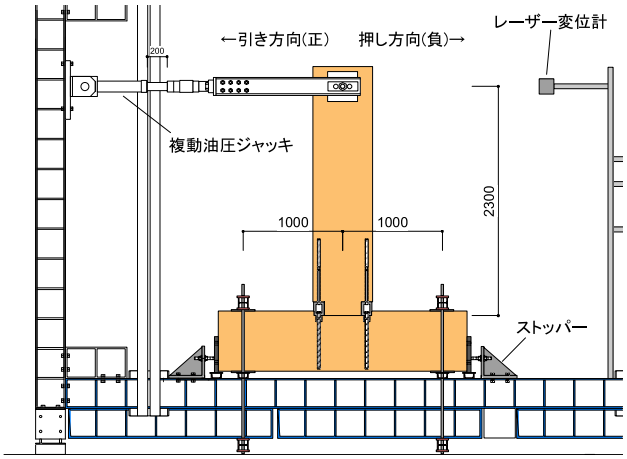
GIR 柱梁接合部

集成材／スギ／ E65-F225 ／ 105 × 600 ／靭性型 GIR 1 本（1 列 1 段）／ト型

**● 姿図・寸法**




G-TMCT
試験体図（単位：mm）




加力装置（単位 :mm）

【使用材料】

母材：集成材（スギ E65-F225 断面 105mm × 600mm）

接合具：タフネスコネクター TFC-M655 φ 24+ キューブコネクター 105、ホームコネクター SL-500 φ 24

接着剤：エポキシ樹脂接着剤（(株）ホームコネクター：AHC-E）

**● 適用条件**

モーメント抵抗接合部として用いる。

**● 概要**

105mm × 600mm のスギ集成材に φ 24mm の接合具を、上図の配置で繊維平行方向に 630mm、繊維直交方向に 475mm 埋め込み、エポキシ系接着剤を注入した試験体である。また、箱型金物と木材でせん断力を負担するように、繊維直交方向の母材（柱側）を 45mm 切り欠き、繊維平行方向の母材（梁側）を埋め込むように納めている。

なお、試験は正負交番・同一履歴 3 回繰り返し加力とした。

**● 接合具（メーカー、入手方法）**

タフネスコネクター工法 （製造：(株）ホームコネクター、販売：(株）スクリムテック）

**● 問い合わせ先 URL** http://www.scrimtec.co.jp/seihin/h_1.html

（2022.6）

GIR 柱梁接合部

集成材／スギ／ E65-F225 ／ 105 × 600 ／靭性型 GIR 1 本（1 列 1 段）／ト型

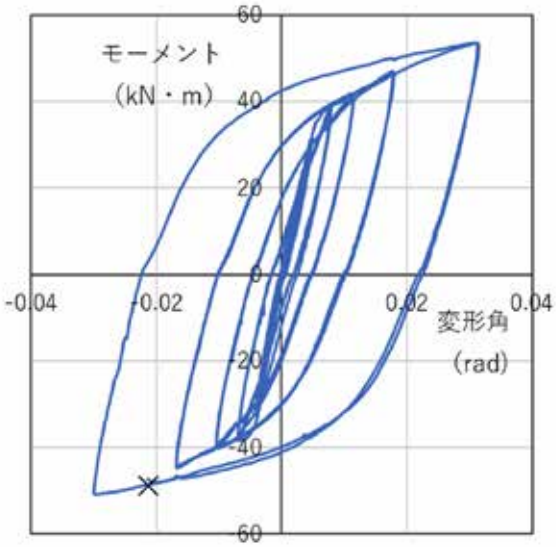
**● 特性値**

| 試験体 | No. | 回転剛性（× $10^2$kN.m/rad） | | 降伏耐力（kN.m） | | 降伏耐力時回転角（× $10^{-2}$rad） | | 最大耐力（kN.m） | | 最大耐力時回転角（× $10^{-2}$rad） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | K | 平均 | My | 平均 | θy | 平均 | Mmax | 平均 | θmax | 平均 |
| G-TMCT | 1 | 79.0 | 76.8 | 35.6 | 34.1 | 0.450 | 0.444 | 50.9 | 47.6 | 2.97 | 2.41 |
| | 2 | 75.7 | | 34.1 | | 0.450 | | 49.0 | | 2.53 | |
| | 3 | 75.7 | | 32.6 | | 0.431 | | 42.8 | | 1.72 | |

| 試験体 | No. | 塑性率（μ） | | 構造特性係数（Ds） | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | μ | 平均 | Ds | 平均 |
| G-TMCT | 1 | 5.15 | 4.23 | 0.33 | 0.37 |
| | 2 | 4.31 | | 0.36 | |
| | 3 | 3.24 | | 0.43 | |

ここでの初期剛性は、モーメント－変形角関係における最大モーメントの 0.1 倍と 0.4 倍の点を結んだ直線の傾きとした。

**● 荷重 - 変形関係**




**● 破壊性状**

全ての試験体について、タフネスコネクターの破断が生じた。

タフネスコネクターの破断

（2022.6）